

日本共産党市議団 セミナーに参加し勉強 政権交代でどうなる自治体



記念講演をする渡辺治教授
9条の会事務局も担当。著書に「憲法9条と25条・その力と可能性」など。

一橋大学の渡辺治教授は、「民主党政権で構造改革政治はどうなる」と題して講演。労働運動と反貧困NGOが初めて手をつなぎ、労働組合ナショナルセンターが共同した

ことが、年越し派遣村の実現となり、民主党を変えていったことや、9条の会が全国に増え続ける中で改憲への世論を変えていったこと、などを話されました。

手をつなぐことで
世論を動かした

平野文活・野田紀子・猿渡（えんど）久子の3名の日本共産党別府市議団は、2月6日から8日に岐阜市内で開かれた自治体政策セミナーにそろって参加し、勉強しました。

また「今後は、地方分権の名のもとに地方自治体同志で構造改革を競わせることがすすんでいく。地方こそが主戦場となる」「反貧困・福祉などそれぞれの運動が大事であり、運動の担い手を大きく

また「今後は、地方分権の名のもとに地方自治体同志で構造改革を競わせることがすすんでいく。地方こそが主戦場となる」「反貧困・福祉などそれぞれの運動が大事であり、運動の担い手を大きく

地方こそが主戦場



左から、えんど久子・野田紀子・平野文活 各別府市議
第35回自治体政策セミナー in 岐阜

この議会報告は、政務調査費で作成しています。みなさんのご意見ご要望などをお寄せ下さい。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.416
2010.2.10.

まちづくりの成功例に学ぼう

住民自身が地域を作っていく

また、京都大学の岡田知弘教授は、「持続可能な社会が課題。それをどう具体化するか。地域からものを見ること、足元からしつかり地域を作っていくことが大事」「団体自治・住民自治・地域の原点」「地域の未来は地域の住民自身が決め実践するという地域住民主権を大事に」と講演されました。

人が集まるしかけ・アイデアを

二日目は、地方財政・社会保障・地域経済など6つの専科で各地からの報告や意見交換などがありました。

さらに、最終日には大垣市でお弁当屋さんを経営している堀富士夫氏がまちづくりの実践を報告。

「持続可能な協働社会を作るためには、人が集

まる公共的な空間と人が来るしかけが必要」と、市街地の「大井戸」にはポリタンクをかかえて14度Cの井戸水を汲みに1日1000人来ることを報告されました。学んだことを今後にかしていききたいと思います。

岐阜市内の街角で見つけたマップ。つい歩いてみたくなる楽しい工夫がいっぱいですね。

